



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第122号 2024年7月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

草取り、草刈りに追われる夏がやってきました



しろかき

鎌倉特有の湿気と猛暑の季節の到来です。春から丹精込めて仕上げた田んぼに、余るほど育った見事な苗が植えられました。暑さと並行するようにぐんぐん育つことでしょう。豆も芋も生育を期待します。

お知らせ

お詫び

この度は第16回総会資料および会報121号の配送が遅れ大変申し訳ありませんでした。配送会社の遅配が原因でした。今後このようなことがないように十分留意してまいります。

夏休みイベント

子ども里山体験

7/26(金) 15:00~

(公財) 鎌倉市公園協会協働開催

対象 小3~6年生 15名

谷戸しごと・竹細工・かまどで夕ごはん作りなど昔ながらの暮らしの体験をします。

詳細は広報かまくら7月1日号に掲載し、(公財) 鎌倉市公園協会にて申込受付を行います。

山崎の夏まつりに参加 7/21(日)

地元の伝統的なおまつりで、当会からは毎年、御輿の屋根の上の鳳(おおとり)にくわえさせる稲を提供し、担ぎ手としても参加しています。



自然だより

梅雨入りが大幅に遅れ、6月下旬に梅雨入りしました。ゲンジボタルが6月上旬にピークを迎え、6月半ばには早くもヘイケボタルが数多く見られました。例年より10日早いペースでした。ゲンジボタルの数は6月7日に約100匹見られたので多めだったようです。オ



タマジヤクシは小段谷戸で順調に育ち、ネットをかけた場所以外でも、アマガエルやシュレーゲルアオガエルのオタマジヤクシが育っています。心配なのは、シオヤトンボが今まで経験しなかったほど少なかったことです。原因は不明です。シオカラトンボも減っていますが、元の数が多いため、



それほどではありません。今年の初夏は、ツバメ、スズメ、ムクドリがとても少なく、ホオジロも見かけませんでした。里山と縁の深い野鳥が減っているのは、周辺の環境変化、田畑や空き地の減少、瓦屋根の減少などが原因でしょう。

●田んぼの生きもの今昔2

昔と今の大きな違いは、多くの人が入るようになったこと、水が少なくなったことでしょう。もとはSさんとTさんの2名が所有していた田んぼで、それぞれ農法も違っていたようです。昔ほどではありませんが、今でも区画ごとに生きものの違いがあります。山際にある「細田」「深田」は「しぼり水」だけの田んぼなので、ホタルやオタマジヤクシがよく育ちます。畑よりにある「大田」「小田」は乾きやすいので、卵で越冬する赤トンボの幼虫による環境です。真ん中にある「仲通り」といわれる数枚の田んぼにはミズオオバコという特殊な草が生えます。「池山田」と呼ばれる上流部の田んぼは、水路に近いので、水路と田んぼを往来するホトケドジョウの稚魚が育つ場所です。畔が昔のままに維持されている限り、区画ごとの特徴を守れると思います。谷戸の田んぼは、水路だけではなく、畔から目に見えない「しぼり水（湧水）」が湧き出して水を供給しています。ヘイケボタルの幼虫は、年間を通じて温度差が少ない「しぼり水」で育っているようです。田んぼのヘイケボタルが1980年代に比べて大幅に減少したのは、「しぼり水」が減ったのに関係がありそうです。1995年ごろ、地主さんが「谷戸の水が少なくなった」と首をかしげておられたのを覚えています。1980年代は「細田」の上にある竹筒から「しぼり水」が流れ落ちていたことを記憶されている方もいるでしょう。夏に田んぼに入ると、冷たく感じる地点があります。そこが「しぼり水」の出ている場所です。田の草をとりながら「しぼり水」を探してみませんか。

田んぼ班



去年の苗不足の反省から、苗床に加え田んぼに苗代を新設。天候も良好で苗が順調に育ち無事に田植えを終了。田植え後の苗も緑が濃く元気で、多くの収穫を期待できそうです。コナギも多く、田の草取りを頑張ります。

自然遊び班



今日は、田植えをした。たのしかった。田んぼのふちはあるいてはいけないことがわかった。ものさしにあわせてうえた。(4年) ナナフシがくものすにひっかかった。(2年) はたけをたがやすのがたのしかった。(2年)



6/2 里山探検隊

畑班



じゃがいもが近年になく不作だった。樹勢が弱くテントウムシの餌食になっていたのは去年の芋を種芋として多く使用したからか、それとも天候のせいかな。今年も梅雨、夏の天候が気になるところ。



6/5 小段谷戸の泥あげ

生態系保全班



ネットをかけた田んぼは、アマガエルのオタマジャクシが上陸するまで保護予定です。稲株には多くの微生物が発生するため田植えは欠かせません。ネットを外し、作業が終わったらまた張るのは大変ですがオタマジャクシの姿に力をもらいます。

植物育成班



移植したオカトラノオが手入れのいかあって見事に咲きました。フジのツルをそのままにしておくと、湿地を覆いアシをはじめほかの植物の成長に影響がでくるため、簡単に除去できるうちに抑制しようと頑張っています。

雑木林管理班



田植えが終了し、土手の手入れから活動を再開しました。土手を含む谷戸の草木および雑草は元気いっぱいです。それらのエネルギーに圧倒されぬよう、頑張って作業に取り組みます。

農芸班



食品衛生法の改正により、好評だった「谷戸の梅干し」を谷戸まつりで販売できなくなりました。今後は保全活動後の塩分補給などで味わっていただきます。昔ながらの塩分20%の梅干しを心を込めて作り続けます。

6/14 梅採り



谷戸の生きもの

タマムシ 光る君へ！ 谷戸には美しい昆虫が何種類かいるが、その大きさから他を圧倒している。盛夏の日差しの強い日中に高い所を飛翔している姿を見ることが多い。エノキの高所などでオスとメスは出会うが、より美しいほど異性にモテるのは人間といっしょ。メスはエノキ、ケヤキ等の立ち枯れや伐採木で産卵する。ある時エノキの大木の下を歩いていたらぶつかってきたことがあった。拾い上げたらメスで私を美しいオス（光源氏？）と間違っただのとドキッとしたが、伐採木に置いたら産卵を始めた（写真参照）ので、むしろ立ち枯れと間違っただのかもしれない。ゆっくりとだが歩いていただけだね😊 （たのくろまめお）



伐採木（ヤマザクラ）で産卵



立ち枯れ（イヌシデ）で産卵

ゴマダラオトシブミ 谷戸に毎日通うと 木曜日（初日）、本田奥にあるクリの下草に様子のおかしいゴマダラオトシブミを見つけた。通常は樹上の揺籃（ようらん）で蛹から羽化して飛び去るはずだが羽がうまく開かず（羽化不全）飛べないようだ。金曜日（二日目）、同じ場所で必死に飛ぼうとしていた。しばらく観察していたが何度も這い上がっては羽を広げていた。土曜日（三日目）、予想に反して同じ所で生存していたが、もう羽は開けないようだ。付近にはアリも多く餌となるのは時間の問題。雨が降った翌日曜日（四日目）、いくら探してもその姿はなかった。 （たのくろまめお）



初日



二日目



三日目



揺籃

谷戸往来

海外の使節団来園 6/19(水)

世界各国から集まった「IGES(地球環境戦略研究機関)」の視察団約60名が谷戸に来訪しました。1時間ほどの短い間でしたが、論より証拠、本田を眺めたり、コンニャク芋やたのくろ豆を見るだけで、里山や谷戸の活動を理解してもらえたようです。意外だったのは、作物への関心が高かったことです。生物多様性と農文化や教育が一つになって、世界的な流れになってきたようです。



山崎小学校 苗取り5/27(月)

山崎小学校5年生の生徒約100人が、苗取りに来ました。苗は、となりの清水谷戸の田んぼ(山小)に植えられました。



青空自主保育3団体保全活動

にこにこ会 畑耕し 6/9(日)
 やんちゃお 湿地復元 6/25(火)
 なかよし会 湿地復元 6/30(日)

初めて鍬を持つ畑仕事や、全身どろんこで格闘する湿地作業など、ともに汗をかいて親睦を深めました。

7月

- 1日(月) 畑 にんじんの種蒔き
 3日(水) 植 土手の草刈り作業
 6日(土) 生 夜の自然パトロール ✨
 7日(日) 田 田の草取り ✨
 雑 土手の草刈り ☆
 自 里山探検隊「夏の谷戸しごと」
 かまくらレンジャーズ
 10日(水) 畑 さといもの草取り・土寄せ ✨
 13日(土) 生 夜の自然パトロール ✨
 14日(日) 田 田の草取り、畔の草取り
 雑 雑木林の下草刈り ✨
 17日(水) 農 梅干し作り(赤じそ仕込み) ✨
 生 初夏のカヤネズミ調査
 21日(日) 田 田の草取り ☆
 雑 草刈りして水路整備 ✨
 26日(金) 夏休み企画 子ども里山体験
 (公財)鎌倉市公園協会協働開催
 28日(日) 田 田の草取り ✨
 雑 アズマネザサの刈り取り ☆

8月

- 4日(日) 田 田の草取り
 雑 アズマネザサの刈り取り ✨
 5日(月) 畑 さつまいもの草取り・つる返し☆
 7日(水) 農 梅干し作り(天日干し) ✨
 植 野草畑の手入れ
 14日(水) 生 水の生物の観察 ✨
 18日(日) 田 土手の草刈り、畔の草刈り ✨
 雑 アズマネザサの刈り取り
 21日(水) 生 バッタの観察 ✨
 25日(日) 田 刈り草片付け、畔の草刈り ☆
 雑 刈払い機で草刈り
 28日(水) 畑 大根畑の耕し、長ねぎの土寄せ ✨
 31日(土) 田 すがい作り

9月

- 1日(日) 田 すがい作り
 雑 刈払い機で草刈り ✨
 2日(月) 畑 大根の種蒔き ✨
 7日(土) 田 はさ準備(本田横)、はさ作り(小段谷戸)
 畔の草刈り☆
 生 虫の音を聞く ✨
 11日(水) 畑 草取り、草刈り ☆
 植 秋の野草観察 ✨ ☆
 13日(金) 農 麦わら細工(しおり作り) ✨
 15日(日) 田 はさ作り(もめんばたけ奥) ✨
 22日(日) 田 稲刈り準備、畔・はさ周り草刈り
 25日(水) 畑 大根の間引き、長ねぎの土寄せ
 29日(日) 田 稲刈り ☆
 自 里山探検隊3~6年「稲刈り」
 30日(月) 畑 かぶ・冬菜の種蒔き ✨

<集合時間・集合場所>

■各班活動

時間:9:30 場所:農家風休憩舎集合
 (農芸班、自然遊び班は、10時~)

■夜の自然パトロール、虫の音を聞く

時間:19:00 場所:山崎口らしいし前集合 20:30頃まで

☆ 谷戸塾

田 田んぼ班
 雑 雑木林管理班
 自 自然遊び班
 植 植物育成班

✨ 里山一日体験

畑 畑班
 農 農芸班
 生 生態系保全班



<お問い合わせ>

住所:
 〒247-0066
 鎌倉市山崎1667鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX:
 0467-47-1164 (木曜を除く10時~16時)

ホームページ:
<https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

メールアドレス:
ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

QRコード
 からHPに
 アクセス!



次号(会報123号):2024年9月発行予定
 会費:郵便振替口座番号 00270-6-115647